



未来への一步

~Let's create the future together~

第086号

発行：兵庫県立播磨特別支援学校

はりゴン

〒679-4002 たつの市揖西町中垣内乙135番地1
TEL (0791) 66-0091 URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/~harima-sn/>
FAX (0791) 66-0092 E-mail harima-sn@hyogo-c.ed.jp

発行日：R6.9.27

夏休み中の部活動

<卓球部>夏休み期間中は、3つのオープン大会に3人の部員が挑みました。学校での練習をする時は、水分をしっかりと補給したり、冷房の効いた教室で休憩をこまめにとったりして、熱中症対策が必要でした。今年も猛暑となり、2回しか練習ができませんでした。課題克服のために、高い意識をもって取り組むことができました。大会に出場したことで、試合で勝利をつかむために必要な技術が何かを知ることができました。今年度の残された部活動の回数や時間は限られているので、新しい技術の習得に向け、より集中力を研ぎ澄まして練習に励みたいです。

<鉄道研究部>8月8日(木)に部員4名が日帰り社会見学会で、九度山真田ミュージアム・JR橋本駅・大阪駅周辺に行ってきました。姫路駅に早朝の集合でしたが、遅れることなく時間通りに出発することができました。新今宮駅まではJRに乗り、そこからは南海電鉄に乗り九度山駅まで行きました。部員全員、南海電鉄が初めてのため写真を撮ったり、別ホームに止まっているラピートを眺めたりしていました。九度山駅から真田ミュージアムまでは徒歩で行きました。ミュージアムの見学後、道の駅で和歌山のお土産を買って、南海電鉄とJRの建物が一体になっている橋本駅を見学しました。大阪では大丸デパートで自分たちが好きな物を買って満足していた様子でした。全員がルールを守ることができたので予定より早く姫路駅に着きました。これからは鉄道研究部は色々な所に出かけていきたいと思っています。

<演劇放送部>8月8日(木)に部員5名と顧問3名で、文化祭に向けたフィールドワークに出かけました。早めの昼食をとった後、姫路市内を回っているループバスに乗り、姫路城の北側を回りました。姫路市の古い街並みを歩きながら一番の目的地である姫路文学館に着きました。文学館では、現在行われている絵本作家の黒井健さんの作品展や常設展を楽しみました。黒井健さんが取り組んでこられた宮沢賢治の作品にも触れることができ、文化祭に向けての話し合いも進みました。城の内堀に沿って続く散策路の木陰でバスを待ち、おしゃべりを楽しみました。暑い中短い時間でしたが、仲の良い友人たちとの会話にほっとする一日となりました。

<ビリヤード部>8月に練習を2回実施しました。今年の夏は特に暑かったのですが、空調設備がある自立活動室で、安全に部活動に打ち込むことができました。いつもの練習では時間をかけることが難しい、普段できない技に挑戦できて、有意義な時間を過ごすことができました。また担任の先生をはじめ、たくさんの先生方が見学してくださいました。ナインボールに参加したり、生徒のプレーに声援を送ったりと、生徒にとって普段と違った緊張感のある環境の中でビリヤードができたことは、貴重な経験になりました。この夏の経験を活かし、今後もビリヤードを通じて、部活動だからできる成長が1つでも多くできるような活動を続けていきたいと思っています。

第2学年外部講師による清掃講座

7月10日(水)と11日(木)の2日間、清掃講座が実施されました。姫路市の清掃会社「錦メンテナンス株式会社」様より講師をお招きし、清掃の目的や、ダスターモップ、フラットモップを使った清掃方法や、トイレの清掃方法を学びました。講義では、「仕事をする上で大切なこと」として、あいさつをすること、「ありがとう」や「すみません」を言うこと、指示された内容を復唱すること、笑顔で対応することなど学びました。実技では1人ずつ丁寧に、道具の操作の仕方や、便器の磨き方や拭き取り方を教えていただきました。



講座の最後に講師の方から、生徒たちが熱心に清掃活動に取り組む姿、説明をメモにとる姿、積極的に質問をする姿など、前向きに取り組む姿勢をほめていただき、「元気をもらいます」と言っていただきました。この講座で学んだことを、これからの生活や将来の仕事にも活かしてほしいと思います。

第1学年 性教育講演会

7月5日(金)にみさ助産院の助産師、前田美佐代先生をお招きして、性教育講演会を開催しました。思春期支援教室①『知っておきたい命のはなし』という演題で講義していただきました。妊娠を正しく知る方法、受精から発育の様子についてクイズや顕微鏡写真やイラスト、さらに胎児から赤ちゃんへの成長度合いを実物大の模型に触れる方法でわかりやすく説明していただきました。妊婦体験では、身体に胎児の体重と同様の重さのおもりを装着してしゃがむ体験をしたり、産道体験では生徒が狭いトンネルをほふく前進をして生まれ出る様子を演じたり、模型を使った赤ちゃん抱っこ体験をしたりしました。最後に、生活での自立度合いをチェック表で確認しながら、育児においての家事分担について考え、コミュニケーションが大切であることを学び、有意義な学習になりました。

技能検定 受検

兵庫県特別支援学校技能検定が今年度も、7月26日(金)物流・品出し部門(赤穂特別支援学校)、7月31日(水)喫茶サービス部門(西はりま特別支援学校)、8月1日(木)ビルクリーニング部門(本校)の3部門が実施されました。受検を希望した延べ53名の生徒が受検し、5月末より職業実習やチャレンジ職業の授業で練習を重ねてきました。生徒たちは、検定準備を通じて手順を覚え、技術を身につけるとともに、自分の課題に向き合い、解決しようと前向きに取り組む姿が見られました。本番では、緊張しながらも一生懸命取り組み、結果を出していました。この経験を通して自信を持ち、いろいろなことに挑戦していく力につながればと思います。

なお昨年度より実施されているパソコン検定は、11月中に校内検定として実施し、延べ27名が受検します。

Café はりまオープン

9月11日(水)マックスバリュ龍野店で、今年度も産学連携事業の「Café はりま」がオープンしました。就業技術科3年生3名と2年生2名の生徒が準備や接客、チラシ配り、コーヒーをドリッパして淹れるなど、先輩や後輩みんなで声をかけ合って協力し、お店を運営することができました。はじめに、それぞれ「笑顔で接客する」「落ち着いて対応する」「正確に作業する」「大きな声で挨拶する」など目標をたてました。最初は緊張して小さな声になってしまったり、焦ってしまったりしましたが、マニュアルを確認しながら取り組むうちに、少しずつ慣れてきました。笑顔でお客様にお菓子を紹介したり、マニュアルのない気配りをしたりする姿に、成長を感じました。立ちっぱなしの作業で足も疲れたと思いますが、地域のお客様の笑顔に、あたたかい気持ちになりました。やりがいも感じる事ができたと思います。ご来店していただきありがとうございました。次回は、10月2日(水)10:00~13:30です。マックスバリュ龍野西店に変更しています。

